

ニホンオオカミ

Canis lupus hodophilax Temminck
ネコ目・イヌ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅

旧：県域絶滅

【環境省カテゴリー】絶滅

選定理由

本県を含め 50 年以上、生息記録がない。

分 布

本県をはじめ、かつては、本州、四国、九州に広く生息していた。1905 年に奈良県鷺家口での捕獲記録が国内最後となっている。

種の特徴

頭胴長 95 ～ 114cm、尾長 30cm。群れとなってシカやイノシシ、ノウサギ等を捕食し、草食動物の個体数増加を抑制していたと考えられる。

絶滅した要因

家畜を襲う等により有害獣として捕獲されたことや、ジステンパー等の感染症が絶滅の要因とされている。

参考文献 阿部永 (2008)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市

ニホンカワウソ

Lutra lutra nippon Imaizumi & Yoshiyuki
ネコ目・イタチ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅

旧：県域絶滅

【環境省カテゴリー】絶滅

選定理由

本県では 50 年以上、生息記録がない。

分 布

北海道～九州まで、河川の下流部に広く生息していた。高知県南西部において 1979 年以降に確実な生息記録がなく、絶滅したと考えられている。

種の特徴

頭胴長 55 ～ 58cm、尾長 35 ～ 56cm。河川の中下流部～沿岸部に生息し、水中で魚類、甲殻類を、陸上でネズミ類、鳥類を捕食する。川岸に巣穴を掘り家族単位で生活する。

絶滅した要因

良質な毛皮を目的とした乱獲とともに、全国的な河川改修による生息地の消失と河川環境の悪化による餌となる魚の減少等が挙げられる。

参考文献 福井県 (1999)、阿部永 (2008)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市

ヒナコウモリ

Vespertilio sinensis (Peters)
コウモリ目・ヒナコウモリ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本県での既知の生息場所は 1 か所であり、生息状況は不安定である。

分 布

北海道、本州、四国、九州で広く生息が確認されている。敦賀市では数百頭からなる繁殖集団が唯一みつがっているが、現在の状況は不明である。

種の特徴

本来は樹洞をねぐらにすると考えられているが、神社等の家屋や人工建造物等の利用も知られている。初夏になると雌親ばかりの出産哺育集団を形成し、2 子を出産する。餌となる昆虫類が減少する冬期には冬眠するが、詳細は不明である。

生息を脅かす要因

伐採等による自然林の消失により、本来のねぐらである樹洞及びねぐら周辺の餌となる昆虫類の発生場所の消失が挙げられる。

参考文献 福井県 (1999)、保科 (2011)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○											

哺乳類